

福山民報

発行所
福山民報社
福山市霞町
3丁目4番地25号
Tel.922-2815
Eメールアドレス
info@fjcp.com
ホームページアドレス
http://www.fjcp.com/



講演する横湯園子氏=22日、しんいち市民交流センター

横湯園子氏 教育講演会 ゆれつ戻りつしながら育つ 子どもの心の不思議

22日、「子どもと教育を守る福山市民の会」は、臨床心理士で元中央大学教授の横湯園子氏を招いて学習講演会を開催しました。

横湯氏は、45年間不登校やいじめ問題と向き合い、カウンセリング活動に従事。教育現場で教師としての経験も持ち、「女の平和」国会ヒューマンチェーン（人間の鎖）の呼びかけ人でもあります。概要を紹介します。

子ども達はいま、いじめ自殺や少年事件など、逃げる事ができない息苦しさで満ちています。「子ども」と「大人」がどう一緒に生きていくかが問われる時代です。近年、神経症、トラウマ（結膜炎）、結核患者が増える傾向にあります。この3つが増えると戦争が起こると言われます。私たちは、この動きに敏感になる必要があります。

引きこもり 130万人時代

いま、引きこもりになる人が130万人にも上ります。

小学校高学年から、中学校の時期は、友達関係は、「鏡像の関係」と言います。自己と他者があり、他者を通して自己を形成する時期です。

学校統廃合計画

	再編対象校	再編後の学校
1	東村小	今津小学校
2	山野小学校	加茂小学校
3	広瀬小学校	加茂小学校
4	服部小学校	駅家東小学校
5	内浦小学校	千年小学校
6	内海小学校	千年小学校
①	山野中学校	加茂中学校
②	広瀬中学校	加茂中学校
③	内海中学校	千年中学校

保護者・住民が望まぬ学校統廃合やめよ

24日に開かれた文教経済委員会で、市教委は「学校規模・学校配置の適正化計画」を提示しました。

生徒数の少ない6小・3中学校を「過小規模校」と表現。統廃合の対象として、上表のように校名を明記しています。

対象校については、説明会を開催し、合意されれば、保護者と地域住民、学校教職員らでつくる「開校準備委員会」を設置し、2020年度までに統廃合を進めていくとの事でした。

対象校では、生徒が少数のため、一人一人を丁寧に指導する、温かい教育が実践されています。

「環境のよい小規模校に合わせたおかげで、子どもが地域の人と触れ合う中、しっかりと知識や体験を積み重ねられた」今まで大規模校にいたが、なじめず小規模校に転校してきた。先生が親身で、今では、子どもに自信がついた。こんな学校をなくさないで」と意見が寄せられています。

中学校では、「管理的・機械的な教育」が増え、子ども達の対人関係は極めて不安定です。

ところが学校では、「自我」が押しつぶされ「本当」の自分が出せません。

さらに「〇〇しなければ」というものが押し付けられています。

その中で、子どもにとって、友達が「鏡」にならず、「親」が鏡にならざるをえない状況です。

いじめが 当たり前前の時代に

「〇〇しなければ」という思いは、専門的には「社会的自己」と呼びます。これと「〇〇したい」という「自我」が内面でぶつかりあいます。

この繰り返いで、青年期、成人期、老年期をすくすくのが人間です。ところが、いまの子ども達は、このような成長過程そのものが、過こせないでいます。

いま、「いじめ」があるのは当たり前前の時代です。

いじめは「孤立化」「無力化」「透明化」の段階を踏んで起きます。SOSを発するのは初めの頃だけです。

ターゲットにされた被害者は、次第に「自分が悪い」とあきらめさせられ、「SOSを出すことも卑怯だ」と思わされるようになります。

「透明化」の段階では、いじめは、周りの子ども達が完全に無関心になり、いじめが一つの景色になってしま

ます。

夏休み明けに「学校に行きたくない」と訴えたり、「子どもが夜眠れず、部屋の電気をつけっぱなしにしている」ような場合、いじめがあるかもしれません。

「何かあるの？」と聞いてあげてください。けんかは対等ですが、いじめは一方的な暴力。「いやだったら学校を休んでもいい」と言っておあげてください。

大人は子どもを守ることに

いま、日本中で、いじめ、自殺、先生の体罰が多く、戦後最悪の危機です。母親たち大人は、命がけで子どもを守ることが必要で、二つの提案をします。

一つめは、教師の多忙と、弊の解消です。膨大な報告や事務作業を減らすのは、校長では無理です。教育長の勇気の決断で書類作業を減らすことが必要です。

二つめは、子ども自身が困難を解決する、「意見表明」と「直接参加」です。

そのため、学校で「ピア・カウンセリング」を提唱します。「ピアカウンセラー」とは、ちよつとしたいさかいを起した子ども同士が、お互いの話を聴き、カウンセラーをかいしつつも、主体となって問題を解決するというものです。

集団の中で、子ども同士のつながりを紡ぎ直させる。これらの対策を、大人の力を発揮してやりましょう。